

点訳通信

40号

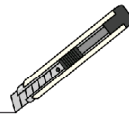
盲人情報文化センター 点字製作係
550-0002 大阪市西区江戸堀 1-13-2
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0039

各曜日担当者交替のお知らせ

これまで曜日担当をお引き受けただいておりました相良さん、福山さん、斎藤さんがご事情により担当を続けられなくなりました。

つきましては、1月からは次の方々に各曜日担当をお願いいたしました。

火曜日	国本、若林
水曜日	沢田、前田
木曜日	磯村、大深
金曜日	荒谷、宗像



Q & A

「!？」はどちらが先

Q

「知ってるつもり!？」の「!」と「?」はどちらが先に書くのでしょうか。『どちらが先でもよい』と言われたこともあります。『これが先』と言われたこともあり、悩みの種です。(M)

A

縦書きの場合、右から左の行へと読み続けます。従って、「?」が先で、「!」が後とも考えられます。また、「!？」の部分だけが横書きのようにも見えます。

その場合は「!」が先で「?」が後でしょうか?

結論を言いますと、基本的には、どちらを先に書いてもよいのですが、墨字も点字も、習慣上「!」を先に書くことが多いです。従って「!::?」が無難ですが、もちろん逆さまに書いても間違いとはいえません。

あらさん
電話なら月三回
まで無料なの…

知ってるつもり!?
★読売 夜9
科学者の未知なるものへの探求は、多くの負の遺産も生み出した。太平洋戦争…



Q ページは29マス目に書くように習ったと思うのですが、Win-BESの「ページ番号付加」機能を使うと、28マス目からはじまります。一つずつ修正しなければならないのでしょうか？

A 墨字図書を見て下さい。多くの図書は下・中央部に書かれていることが多いですが、奇数・偶数ページで、左右に振り分けたり、あるいは上部に書かれていたり、書き方も位置もまちまちです。目次などから目的の箇所を開くことができればいいことで、一つのルールで縛る必要はありません。

では、点字も同じでしょうか。ページ行は普段、あまり見ることはありませんが、目次を見て必要な箇所を開く場合など有用です。普段はじゃまにならないで、必要なときはさがしやすい位置がベストです。晴眼者の場合は、本文の枠外に書かれておれば上記の条件を満たすことが出来ますが、点字図書の場合は少し違ってきます。また、従来からの慣習も無視することはできません。

ページ行の右上に書くというのは何か合理的な意味合いがあるのでしょうか。点字図書を手にとって考えて下さい。左側（片面打ちの図書や、奇数ページの場合）に書かれていると内側まで指を移動させねばならず、読みづらいことがわかります。やはりページを繰ったとき読みやすい位置、つまり右側がよいことはすぐに理解できると思います。右下に書くには点訳ソフトが対応してなく論外です。

それでは29マス目に書くというのは何でしょうか。点訳書はかさばりますので、ページ数が3桁（999頁）を越える図書は存在しません。29マス目から32マスまでは4マスあり、数符もあわせて3桁の数字が入ります。ちょうど3桁の数字が入る一番いい位置ということで29マス目が利用されています。

では、99ページ以内で終わる図書では、30マス目からページを書いてもよいのでしょうか……。もちろん、間違いではありません。ただ、ある巻は30マス目から、別の巻は29マス目からとするよりも同じ位置から打たれた方が体裁がいいです。

以上のことからおわかりいただけたと思いますが、Win-BESで28マス目からついたページ数をいちいち修正する必要はありません。



最近 Windows パソコンで点訳をされる方が少しずつ増えてきています。そこで、しばらく中断していた「パソコン点訳講座」を Win-BES で再開することになりました。

Win-BES は入力に関してはほとんど BE や DOS-BES と変わりませんが、Windows 特有の使い方（例えば2つ以上のデータを並べて表示したり、そのデータ間でコピーや移動をしたり……）ができますので、様々な機能を使えるようになれば、便利であるだけでなく、点訳にまた違った楽しさが加わるのではないのでしょうか。

BE や DOS-BES と共通する機能もたくさんありますので、BE や DOS-BES をお使いの方にもご利用いただけるよう、わかりやすくまとめていきたいと思っています。

「こういう時はどうするの?」という質問や「この方法について載せてほしい」といった要望がございましたら、「ご意見箱」にお寄せいただくか、直接お聞かせください。ご協力よろしくお願いいたします。

(担当：中村三枝子)



Win-BES の画面構成

— …… アイコン化
□ …… 全画面表示 (画面いっぱいに表示する)
× …… 終了 (Win-BES を終了する)

— …… アイコン化
□ …… 全画面表示
× …… 終了 (このファイルのみを終了する)

メニューバー
タイトルバー
ファイル名

Win-BES 99

ファイル(F) 編集(E) グラフィック(G) ページ(P) 校正(K) 読み上げ(Y) ジャンプ(J) 表示(O) 設定(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

□ ユーザ701

ページ行
以下文書行

1 ページ 2 行 1 マス

点字 挿入 6 点

カーソル位置表示
表示文字
挿入/上書モード
入力方法

Win-BES の操作マニュアル

残念ながら本になったマニュアルはありませんが、ヘルプ以外にパソコン上で

『Win BES 99 ユーザーズガイド』を見ることができます。

Windows の **スタート** メニュー → **プログラム** → **Win BES 99** → **マニュアル** を選ぶと、マニュアルが画面に表示されます。基礎編、発展編、解説編に分けて書かれており、グラフィック機能や音声ピンディスプレイ機能についても説明されています。是非一度ご覧ください。また印刷することもできますので、自分専用のマニュアルとして、印刷して手元に置くこともできます。

ヘルプの使い方 (BE・DOSBES 共通)

どのキーがどの機能をするのかわからなくなった時は、[F 1] を押すか、メニューバーのヘルプの操作ヘルプをクリックしてください。ヘルプの画面が出て、キーの機能が表示され、↓↑キーを押すとカーソルが移動して、右側の枠内に詳細な説明が表示されます。但し、これはファンクションキー等のキーを使う機能の説明のみで、メニューバーで行う操作については、前述のユーザーズガイドを見てください。また、新旧のキー操作の比較表を次ページに載せましたので、ご覧ください。

[例] F 6 : 改ページにあわせると、次のような表示が出ます。

BESWIN ヘルプ	
何も押さないで	説明
F 1 : ヘルプ	
F 2 : 検索	
F 3 : 置換	
F 4 : 墨記	
F 5 : 行間隔切り換え	
F 6 : 改ページ	改ページマークを挿入します
F 7 : 前画面	
F 8 : 次画面	
F 9 : 複写	
F 10 : 移動	
F 11 : 削除	
F 12 : 上書き保存	
	改ページマークが挿入されると、その記号より下の行は、次のページまで文字入力が禁止されます(カーソル移動できません)。削除するには、削除または後退キーを使用してください。

また、ヘルプ画面で、直接キーの役割を調べることができます。例えば、[F 1] でヘルプ画面をし、[Shift]+[F 9] を押すと、このキーの役割である「文書結合」の説明が出てきます。

新旧 キー操作 比較表

Win-BES では、より Windows の標準的なキー操作に近いキー操作になっています。
BE や DOS-BES から移行された方は下記の比較表を参考にしてください。

【何も押さないで】

キー名	新機能	旧機能
F 1	ヘルプ	同じ
F 2	検索	同じ
F 3	置換	同じ
F 4	墨訳	同じ
F 5	行間切り換え	同じ
F 6	改ページ	同じ
F 7	前画面	同じ
F 8	次画面	同じ
F 9	複写	同じ
F 10	移動	同じ
F 11	削除	同じ
F 12	上書き保存	同じ

キー名	新機能	旧機能
↑	1行上に移動	同じ
↓	1行下に移動	同じ
←	1文字左に移動	同じ
→	1文字右に移動	同じ
Home	行頭へ移動	画面上端
End	行末へ移動	画面下端
PageUp	前ページ	同じ
PageDown	次ページ	同じ
Insert	上書／挿入切り換え	同じ
Delete	文字削除	同じ
BackSpace	前文字削除（後退）	同じ
Tab	次のタブ位置へ移動	同じ

【Shift を押しながら】

キー名	新機能	旧機能 とその移動先
F 1	インデント	タブの設定 メニュー「設定」へ
F 2	行削除	同じ
F 3	行復活	同じ
F 4	カナ／英語表示切り換え	同じ
F 5	グラフィック画面切り換え	単語・短文登録 メニュー「設定」へ
F 6	ページ番号付加	同じ
F 7	ページジャンプ	同じ
F 8	部分書き出し	キー設定 メニュー「設定」→「入力設定」へ
F 9	文書結合	同じ
F 10	文書分割	同じ
F 11	表示切り換え	同じ
F 12	編集終了	同じ
↑	指定範囲↑方向	文頭へ移動 Ctrl + Home
↓	指定範囲↓方向	文末へ移動 Ctrl + End
←	指定範囲←方向	行左端へ移動 Home
→	指定範囲→方向	行右端へ移動 End
Home	前の段落位置	画面上端
End	次の段落位置	画面下端
PageUp	前の見出し位置	—
PageDown	次の見出し位置	—
Insert	文節復活	—
Delete	文節削除	—
BackSpace	記号読みモードのオン／オフ	—
Tab	前のタブ位置へ移動	同じ

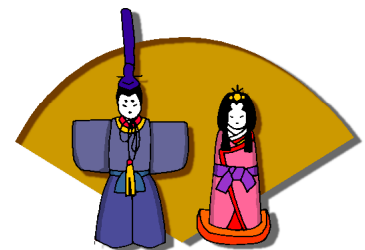
【Ctrl を押しながら】

キー名	新機能	旧機能 とその移動先
F 1	文字読みオン／オフ	同じ
F 2	現在位置確認	同じ
F 3	カーソル行読み上げ	同じ
F 4	編集中のファイルを閉じる	現在ページ読み上げ Ctrl + F 6
F 5	文字/フォネティック読み切り換え	同じ
F 6	現在ページの読み上げ	音声スピード切り換え Ctrl + F 10
F 7	再読み上げ	文節読み
F 8	カーソル位置の現文節読み	同じ
F 9	読み上げオン／オフ	文節読み
F 10	音声スピード切り換え	文末まで読み上げ Ctrl + ↓
F 11	入力モード切り換え	次の見出し位置 Shift + PageDown
F 12	グラフィック存在の確認	次の段落位置 Shift + End
↑	文頭～カーソル読み上げ	――
↓	カーソル～文末読み上げ	――
←	前の文節読み	――
→	次の文節読み	――
Home	文頭へ移動	グラフィック Shift + F 5
End	文末へ移動	入力状況表示 Ctrl + I
PageUp	空白文字の読み上げ	同じ
PageDown	カーソル移動先文字の読み上げ	同じ
Insert	ファイル名表示	――
Delete	カーソル～行末削除	――
BackSpace	行頭～カーソル削除	――
Tab	ファイル切り換え	――
h	マーク 1	――
j	マーク 2	――
k	マーク 3	――
t	時刻確認	――
i	入力状況確認	――



【Shift + Ctrl を押しながら】

キー名	新機能	旧機能 とその移動先
F 1	カナ／英語読み	同じ
F 2	カーソル表示オン／オフ	同じ
F 3	上書／挿入表示	同じ
F 4	改行・改ページ表示	同じ
F 5	見出し行表示オン／オフ	ページ行の検索 Shift + Ctrl + F 6
F 6	ページ行の検索	見出し行表示オン／オフ Shift + Ctrl + F 5
F 7	見出し指定	前文節読み Ctrl + ←
F 8	見出し指定解除	カーソル位置の文節読み
F 9	前の見出し指定行へ	次文節読み Ctrl + →
F 10	次の見出し指定行へ	ファイル名表示 Ctrl + Insert
F 11	外文字オン／オフ	前の見出し位置 Shift + PageUp
F 12	2級英語点字オン／オフ	前の段落位置 Shift + Home
↑	上方向に再検索	同じ
↓	下方向に再検索	同じ
←	行左端～カーソル読み上げ	行左端～カーソル削除 Ctrl + BackSpace
→	カーソル～行右端読み上げ	カーソル～行右端削除 Ctrl + Delete
Home	↑方向行中マスあけチェック	――
End	↓方向行中マスあけチェック	時刻確認 Ctrl + T
PageUp	↑方向行頭マスあけチェック	――
PageDown	↓方向行頭マスあけチェック	――
Insert	ページ行下移動	――
Delete	ページ行上移動	――
BackSpace	ページ行読み上げオン／オフ	――
h	ジャンプ1	――
j	ジャンプ2	――
k	ジャンプ3	――



Win-BES では Alt(前面キ)を使った機能が次のように変更になりましたので、ご注意ください。

(Win-BES では Alt キーは使いません)

【Alt キーを押しながら】

キー名	旧機能	移行先
F 1	文節削除	Shift + Delete
F 2	見出し指定	Shift + Ctrl + F 7
F 3	目次作成	メニュー「ページ」
F 4	標題紙作成	メニュー「ページ」
F 5	部分書き出し	Shift + F 8
F 6	---	---
F 7	再読み上げ	Ctrl + F 7
F 8	読み上げオン/オフ	Ctrl + F 9
F 9	マーク 1	Ctrl + H
F 10	マーク 2	Ctrl + J
F 11	マーク 3	Ctrl + K
F 12	マーク 4	メニュー「ジャンプ」
↑	行頭マスあけチェック↑方向	Shift + Ctrl + PageUp
↓	行頭マスあけチェック↓方向	Shift + Ctrl + PageDown
←	行左端~カーソル読み上げ	Shift + Ctrl + ←
→	カーソル~行右端読み上げ	Shift + Ctrl + →
Home	文頭~カーソル読み上げ	Ctrl + ↑
End	カーソル~文末読み上げ	Ctrl + ↓
Insert	ページ行↓移動	Shift + Ctrl + Insert
Delete	ページ行↑移動	Shift + Ctrl + Delete

【Alt + Shift を押しながら】

キー名	旧機能	移行先
↑	行中マスあけチェック↑方向	Shift + Ctrl + Home
↓	行中マスあけチェック↓方向	Shift + Ctrl + End

【Alt + Ctrl を押しながら】

キー名	旧機能	移行先
F 1	文節復活	Shift + Insert
F 2	見出し指定解除	Shift + Ctrl + F 8
F 3	インデント	Shift + F 1
F 4	外文字オン/オフ	Shift + Ctrl + F 11
F 5	2級英語点字オン/オフ	Shift + Ctrl + F 12
F 6	入力モード切り換え	Ctrl + F 11
F 7	---	---
F 8	グラフィック存在確認	Ctrl + F 12
F 9	マークジャンプ 1	Shift + Ctrl + H
F 10	マークジャンプ 2	Shift + Ctrl + J
F 11	マークジャンプ 3	Shift + Ctrl + K
F 12	マークジャンプ 4	メニュー「ジャンプ」
タブ	凹面凸面表示切り換え	メニュー「表示」

Q & A

Q 気になって正月にパソコンをさわってみたのですが、何の異常もありません、ほっとしたところで気がついたのですが、日付が80年になっています。以前からあまり日付を見る習慣がありませんのではっきりしたことは言えませんが、確かに正確な日付を刻んでいたように思います。これも2000年問題なのでしょうか。ちなみに私が使っているソフトは「BE」というものです。

A BEソフトをお使いの方から日付が狂ってしまったという報告を何件かお寄せいただきました。内部の計算を下二桁でおこなっている関係で狂ってしまったと考えられます。BEメニューにある『日付・時刻変更』では修正することはできませんが、訂正はいたって簡単にできます。まずBEを終了させます。「c:¥>」という文字が表示されます。その後ろに「date」と入力し、改行（[Enter]）キーを押します。すると新しい日付を聞いてきますので、正しい日付を入力し改行キーを押すと、（画面は何の変化もありませんが）正しい日付に変わります。

c:¥date ← 「date」と入力し、改行（[Enter]）キーを押す
新しい日付を入力して下さい（yy-mm-dd）：2000-03-12 ← 新しい日付を記入

■ハードディスクがあるタイプ（フロッピーを入れるところが1つで、BEを終了すると「c:¥」と表示される）は「2000-03-12」のように「年・月・日」の順で記入します。

■また、ハードディスクがないタイプ（フロッピーを入れるところが2つで、BEを終了すると「a:¥」と表示される）は「03-12-2000」のように「月・日・年」の順に記入します。

これで完了。次回からは正しい日付が表示されます。

ただし、「変更修正」→「作成日時」の画面は「100年」と表示されますが、タイムスタンプは正常です。不明なことがありましたら木村までお尋ね下さい。



読み方調べ

■Mさんより『外国人名事典』『針灸取穴入門』『新全国歴史散歩シリーズ』ほか多数寄贈していただきました。

■岡田允子さんより『俳人協会会員名簿』をいただきました。本名のほか姓号も記載されています。また、藤田絹さん、多田たかねさんより短歌関係の資料をお借りしました。順次データを取り込み、パソコン上で検索できるようにします。

■島田記子さんより難読漢字・人名、大蔵継子さんより俳人、山際かめよさんより音楽関係の人名データをいただきました。それぞれ点訳書に掲載されていた難読漢字です。苦勞して調べた読みは今後とも活用できるように『読み方調べ辞典』に登録させていただきます。お手数ですが「漢字、読み、簡単な説明、辞書名」などを記入（できればワープロ等で）いただければ幸いです。

皆さんありがとうございました

■島田さんからいただいたデータの一部

『「民都」大阪対「帝都」東京 思想としての関西私鉄』原武史著、講談社からの難読字一覧

御羽車 おはぐるま 「賢所」をのせた車のこと

賢所乗御車 かしこどころじょうぎよしゃ 御召列車のなかの「賢所」を 安置した車両（『産業の昭和社会史8 鉄道』原田勝正 日本経済評論社）

故跡 こせき 「古跡」と同じ（『角川 新字源』）

西宝線 さいほうせん 阪急の西宮北口ー宝塚間の旧称。（阪急宝塚駅インフォメーションにて確認）

大浜汐湯 おおはましおゆ 大正2年に南海電車が作ったもの。大きなお風呂があって、大浜の沖からパイプで吸い上げたきれいな海水をわかした（昭和20年に消失）（『むかしの堺』別所やそじ他著 堺児童文化振興会 非売品）

小風秀雅 こかぜ／ひでまさ お茶の水大学教育学部史学科教授。「京浜急行電鉄一戦前期における都市縦貫計画とその挫折」の著者。（『新訂現代日本人名録98』日外アソシエーツ）

中村尚史 なかむら／なおふみ 埼玉大学経済学部助教授。「神奈川の鉄道 1872ー1996」の著者。（『新訂現代日本人名録98』日外アソシエーツ）

浅香勝輔 あさか／かつすけ 「京阪電気鉄道一沿線風土と歴史的景観」の著者。

竹村民郎 たけむら／たみお 大阪産業大学経済学部教授。『笑楽（しょうらく）の系譜』（同文館）の著者。

苅部直 かるべ／ただし 東京大学大学院法学政治学研究科助教授。『光の王国 和辻哲郎』（創文社）の著者。（『新訂現代日本人名録98』日外アソシエーツ）